



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

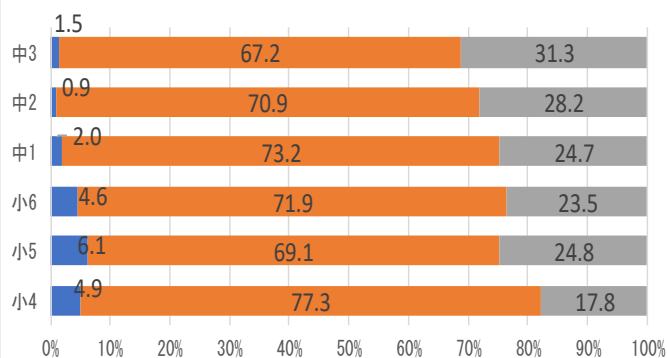
E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

◇「生活振り返りシート」調査結果より(回答数 小4～小6の665人, 中1～中3の657人、2024年6月実施)

※8/26実施の「いじめ防止サミット」の討議資料として活用した一部です。

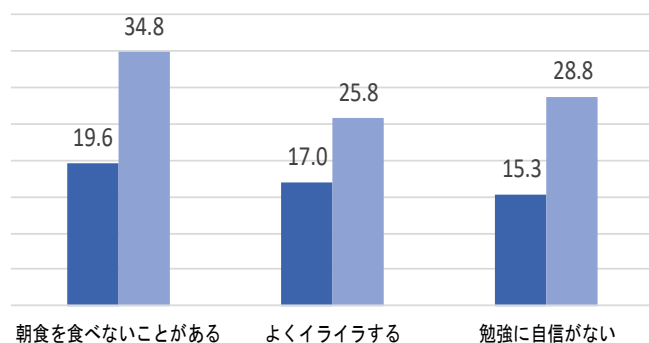
一日のネット接続時間(%)

■しない ■4時間まで ■4時間以上



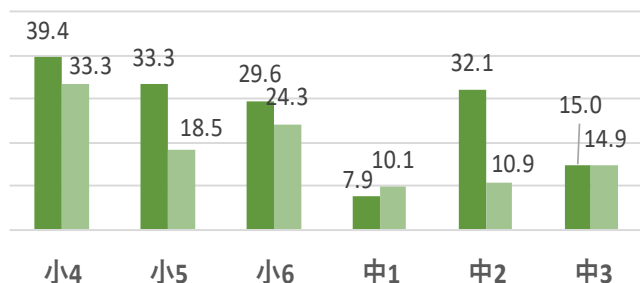
接続時間と生活習慣(%)

■4時間まで ■4時間以上



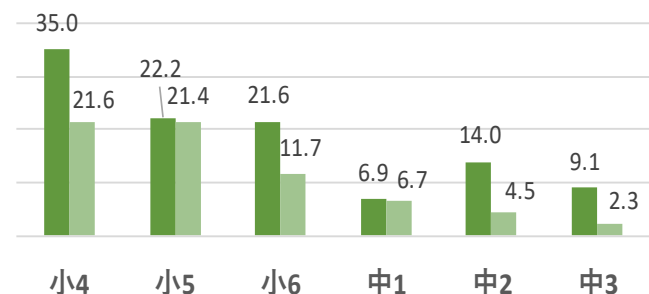
この1年間でいじめを見たことがある (%)

■男子 ■女子



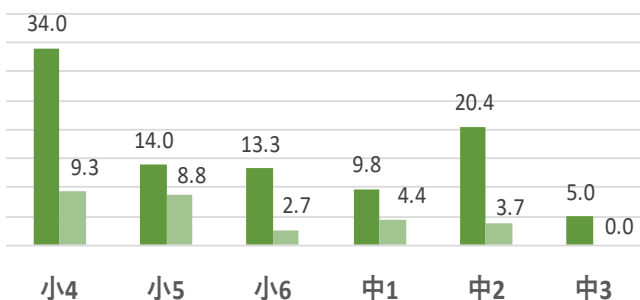
この1年間でいじめられたことがある (%)

■男子 ■女子



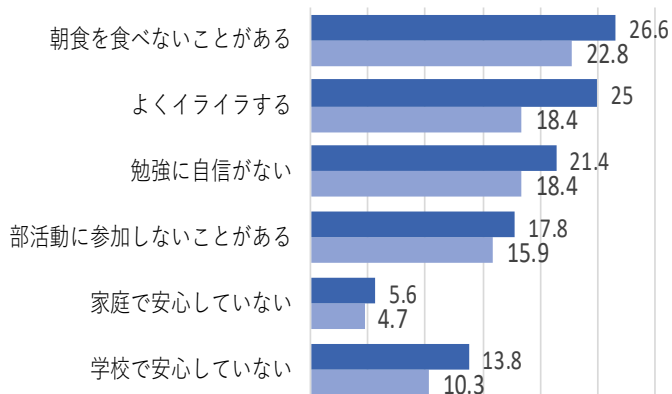
この1年間でいじめてしまったことがある (%)

■男子 ■女子



いじめ加害経験の有無と生活習慣(%)

■加害経験あり ■加害経験なし



成長

犬や猫の成長は、大きくなるのを成長といえます。しかし、人間は、赤ちゃんが保育園に行くようになった、幼稚園に行くようになった、小学生になった、中学生になった、高校生になった、というだけでは成長したとはいえないのではないのでしょうか。

では、何を人間成長の物差しにするか。私は「自律の力こそ」と考えてきました。

赤ちゃんの頃は、お母さんがどんなに忙しくても授乳を追って泣いていた子どもも、幼稚園の頃になると「おやつがほしいけれども、お母さん忙しそうだから、しばらくがまんしよう」と欲望にブレーキをかけることができるようになる。仲間みんなが持っている

あのおもちゃがほしいけれど、お金がなさそうだからやめておこうとハンドルを切り替えることができるようになる。小学生になると、この自律の力が頼もしくなる。

中学生にもなれば、相当強い誘惑の風が吹いても、ハンドルさばきを誤ることがなくなつた。といえなければ「人間が成長した」とはいえない。

学校の名前

学校の名前なんかちっともあがらなくてもいいんです。

子どもが「あの学校に学んでよかった」と言ってくれるような学校をいっしょうけんめい築いていきましよう。

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッツ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

小さい白いにわとりが「この麦、誰がまきますか？」と尋ねると、

ぶたも、ねこも、犬も、「いやだ」と答えます。

小さい白いにわとりはひとりで麦をまき、大きくなった麦の前で「誰が刈りますか？」と尋ねると、今度もみんなから「いやだ」という答えが返ってきます。

「粉にひきますか？」と尋ねても、「パンに焼きますか？」と尋ねても、答えはやっぱり「いやだ」。

小さい白いにわとりはひとりで粉にひき、パンに焼きました。

でも最後に、「このパン、誰が食べますか？」と尋ねると、ぶたも、ねこも、犬も、いっせいに「食べる」と答えました。

さて、小さい白いにわとりは何と答えたでしょう？

昭和33年度版から49年度版まで、長く教科書に掲載されていた作品です。ウクライナ民話をもとにしたお話で、小学校1年生の教科書に登場しました。

麦をまいたり、刈り取ったり、パンに焼いたりする仕事があるたびに、みんなの返事は「いやだ」。なのに、いよいよパンが焼き上がったら、打って変わって「食べる」。これを聞いたにわとりが何と答えたのかは、教科書には書かれていません。

確かに1年生にも理解できる、繰り返し場面の短いお話ですが、今読むと、人の心の奥底をのぞくような、空恐ろしい気になせられるお話でもあります。同じく繰り返し構成の作品でも、登場人物たちが力を合わせて一つのことを成し遂げる「大きなかぶ」とはまるで違う色合いです。だけど、現実世界では「大きなかぶ」に出てくる犬やねこやねずみより、「小さい白いにわとり」に出てくるぶたやねこや犬のほうが、実際にいそうな気がします。そう感じたのは、私ですが、この話を読んだ子どもたちがそう感じない様に、普段から大人が良い手本にならなければいけないなあと思います。

■臨床心理士による『相生っ子悩み相談』(要予約)

10月11日(金)と10月25日(金)

11月 8日(金)と11月22日(金) 午後1時～5時
(※毎月第2、第4金曜日)

■センター職員による教育相談もご利用ください。

○来所相談 毎週 火曜日～金曜日 13:00～16:00

○電話相談 毎週 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(ただし、祝日は休み)

友達に言えないこと、
両親に言えないこと、
先生にも言えないこと、
ひとりで悩んでいないで、
気軽に電話してください。

小・中・高校生
保護者・ご家族の皆さん
もどうぞ。

※一人で抱えこまずお気軽にご相談ください。

※問題に立ち向かうための元気づけ、勇気づけができればと思っています。